

**第 3 章 総合体育館整備の基本的な考え方**

これまでに整理した本市を取り巻く課題や現状の分析を踏まえ、総合体育館整備にかかる基本コンセプトを以下のとおりとします。

**1 総合体育館整備の必要性**

総合体育館の必要性について、現在の日向市体育センター（昭和 45 年（1970 年）建設）及び本市の現況や市民のニーズを踏まえ、主な課題を次の 4 つに整理しました。

	課題および目指す方向性
課題 1	<p>現在の体育センターは、建設後約 50 年経過し施設の老朽化が進み、また、新耐震基準を満たしておらず耐震性にも課題があり、利用者の安全性が懸念されている。</p> <p>○利用者の安全性の確保が必要 → ※最優先事項</p>
課題 2	<p>厳しい財政状況、将来の人口減を見据えた施設の廃止・複合化の検討が必要。</p> <p>○建設にかかる市の実質的な将来負担額の抑制（国補助事業、有利な起債の活用）</p> <p>○官民連携による設計・施工と施設供用開始後の維持管理・運営の一括発注等を行うことで、より良いサービスの提供等の実現が期待される PPP / PFI 手法について、今後、導入可能性調査の実施の検討が必要</p> <p>（国も交付金事業活用の際の導入検討を要件化する等、積極的な導入を求めている）。</p> <p>○老朽化した施設の複合化による老朽施設の解体によって、市民の安全性を確保</p> <p>○施設複合化により市全体の維持管理費の低減</p>
課題 3	<p>コストバランスに配慮することを前提に、多様化する市民ニーズに応える設備の充実が求められる。</p> <p>○全ての人々が不自由なく快適に利用できるように、ユニバーサルデザインによる施設整備。</p> <p>○ある程度の各種大会、イベントにも対応できる施設整備</p> <p>【令和 8 年 国民スポーツ宮崎大会も整備スケジュールにおく。】</p> <p>○空調設備の整備</p>
課題 4	<p>防災拠点としての機能も兼ね備える必要がある</p> <p>○多発する自然災害に備えた防災拠点の整備</p>

以上の課題を解決するため



**新しい体育館の整備**

## 2 上位関連計画等との整合性

市民の健康増進や競技力向上、またスポーツを通じた交流による地域活性化等を図るために、市の各種計画において、スポーツの振興や施設の整備に対する方針が示されています。

### (1) 第2次日向市総合計画（平成29年3月策定）

「海・山・人がつながり 笑顔で暮らせる 元気なまち」を将来像に掲げて、6つの基本目標や3つの重点戦略、重点プロジェクトに取り組むこととしています。

#### 【本基本構想との関連】

##### ●重点戦略3 笑顔で暮らせるまちづくり戦略

<目標> 若者も安心して住み続けられるまちをつくります。

##### 3-2 笑顔で暮らせる“健康長寿・スポーツ推進”プロジェクト

○子どもから高齢者まで元気に自立した暮らしを続けられる健康長寿のまちをつくります。

○市民がスポーツに親しみ心豊かに健康的な生活を送れる環境をつくります。

【主な事業】 生涯スポーツの推進、体育館の整備推進

##### ●基本目標別の施策

【基本目標1】 ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち

<施策名1-7> スポーツ活動の推進と環境づくり

##### ③競技スポーツの推進

○小学校、中学校、高校のスポーツ指導者が連携し、スポーツ選手の育成に取り組めます。

○全国高等学校総合体育大会南部九州大会や、宮崎国民体育大会の開催競技を誘致します。

##### ④体育施設の整備と活用

○誰もがスポーツができる環境づくりに努めます。

○スポーツ施設整備基本構想を策定し、施設の長寿命化や安全で安心な施設の整備に努めます。

### (2) 日向市行財政改革大綱（平成29年2月策定）

本市の行財政改革の基本方針を定め、行財政基盤の更なる強化を図り、より一体的な取組を推進することとしています。

#### 【本基本構想との関連】

##### 3 持続可能な財政基盤の強化

##### ①経営視点に立った財政運営

○公共施設の老朽化に伴う多額の更新費用に対応するため、社会経済情勢や市民ニーズの変化を見極めながら施設の更新、統合、廃止の最適化に取り組むとともに、適正な維持管理、長寿命化、PPP/PFI手法による財政負担の軽減と平準化を図ります。

○公共施設や行政サービスの維持に要するコストの見直しとあわせて、受益と負担の公平性の観点から、使用料・手数料の適正化を図ります。

### (3) 日向市公共施設等総合管理計画

市の公共施設マネジメントに関する基本的な考え方をまとめ、施設が抱える課題整理について、効率的・効果的なマネジメントの推進を図ることとしています。

#### 【本基本構想との関連】

[基本目標] (公共施設マネジメント三原則)

#### ○安全・安心の確保

定期的な点検・診断を行い、適切な維持管理と耐震化に取り組みます。

#### ○総量の最適化 「普通会計における建物系施設（総延床面積）の30%削減」

社会情勢や市民ニーズを見極めながら、公共施設の新規整備の抑制、有効活用、統合（集約、複合化、転用）、廃止を推進します。

#### ○ライフサイクルコストの縮減

公共施設の長寿命化を図り、維持管理方法の見直しや公民連携によるライフサイクルコストの縮減に努めます。

[施設類型ごとの管理に関する基本的な方針]

#### 1 建物系施設（3）その他の施設

- ① 定期的な点検等に基づく適切な維持管理や修繕を行いながら、利用者の安全・安心の確保に努めます。
- ② 老朽化が進んでいる施設については、今後の人口の推移や財政状況、利用の実態等を踏まえ、更新等にあわせて統合・廃止を検討します。また、利用が極端に少ない施設についても、運営方法の見直しとともに、統合・廃止を検討していきます。
- ③ 建物の老朽化に伴い修繕等のコストが増加することが見込まれますが、予防保全等の長寿命化に取り組むとともに、施設維持管理委託の見直し等により、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

## 3 基本コンセプト

---

新体育館は、将来にわたって、子どもから高齢者まで広くスポーツや健康づくりに親しむことができる拠点施設として、今後求められる機能や役割を踏まえ、以下のとおり、基本コンセプトを定めます。

### (1) 日常のスポーツ活動を支援する施設づくり

- 屋内スポーツ施設の拠点として健康増進や生きがいつくり、競技力向上など、日常的なトレーニングの場として活用
- レクリエーションやニュースポーツ等スポーツへの関わりの場として利用
- 健康・体力づくりに励む市民同士の交流拠点のひとつとして活用

- (2) 様々なスポーツ大会が開催できる施設づくり
  - 既存施設ではできなかった地区大会や県大会、またはそれ以上の大規模な大会の会場として利用
  - プロスポーツ等の公式試合や合宿の誘致、トップアスリートとの交流の場として利用
  
- (3) スポーツによる交流やイベントの拠点としての施設づくり
  - スポーツ交流の場、スポーツ推進イベントの場として利用
  - スポーツに限定しない各種イベントや集会の開催
  
- (4) 防災拠点としての施設づくり
  - 緊急支援物資の集積場所として利用
  - 指定避難所として指定

#### 4 総合体育館に備える基本的機能

---